



オーストラリアワーキングホリデー

◆特典◆

1 仕事のおまけとボランティア情報

2 オーストラリアのお酒図鑑

◆そのほかのお得な情報◆

ボランティアサイト

i can do that*

<http://www.volunteer.vic.gov.au/>



<http://govolunteer.com.au/?AspxAutoDetectCookieSupport=1>

英文のものを集めてみました。チアーズでも日豪プレスでも扱っています。

仕事になるかも？

<https://www.google.co.jp/webhp?sourceid=chrome-instant&ion=1&espv=2&ie=UTF-8#q=busking+australia+application>

上記は実は検索のキーワードを入れただけです。なぜかというストリートパフォーミングで稼ぎたい人向けのグーグルの検索画面です。項目はと仕事の申請画面なのであなたが滞在していると仕事に申請フォームを提出してくださいね。

バスキングでお金をジャパニーズレストランの給料だけではやっていけない！！という人は何かしらストリートパフォーマンスで補うというの也有ります。

ポイを持っていく(ファイヤーダンスの一種)を持っていくのもおすすめします。

外国で投げ銭で生きていくなんてすごいと思いませんか？

実際に日本食レストランでは給料が低くて嫌だという方は土日にパースのフリーマントルでストリートパフォーマンスをして生活費をたしていました。

◆オーストラリアのお酒全部飲めるかな？◆

ここからはオーストラリアのお酒の写真館です。順不同に並べますので参考にしてください。

あまり参考に過ぎててもいけませんよ！（何の？）



上記二つはものすごく高いワインだったので見るだけにしました。ゴールバーンのビジターセンターの中にありました。

左下の写真はアメリカのビールです。なんかホップと炭酸がもうちょい欲しいです。

右下はグレートノーサンプレウイングです。結構軽めでマイルドで飲みやすく気づくと数本瓶が空いていますので気をつけてください。



左がわケアンズゴールド。地元でも知られていないかわいそうな地ビールです。かなり軽めなので酒豪ではない人にとっては軽くてサラッと行けるビールです。

右上は「ハンドライ・ライトです」アルコール度数 3.5%と低くお酒が苦手な人はいいかもかもしれません。このハンというビールは3種類あり、それぞれアルコール度数の強さと味の質？で区別されており、この一番アルコール度数が低いものが一番安く、当時の E-SAVE アカウントの利子で変えるくらいでした。

右下はカールトンドラフト。強くてたくましい男のビールだそうです。アリススプリングスで知りました。これは少し強めです。僕的にこのビールが一番好きです。キングクリークステーションでたらふく飲んでいました。

僕好みのホップが聞いた一番美味しいビールです。

ちなみにスーパードライが好きな人は「XXXX」(フォーエックス)が好きという傾向があります。



左上から。BRVO。これはケアンズのリカーショップのおつとめ品のところに置いてあったので好奇心で買いました。結構苦かったしアルコール度数はたかめです。オーストラリアはビールでも5%以上のモノが多数あります。

左上のゴートと書いてあるビール。これは6.5%とかなりアルコール度数のビールが高いものです。少し炭酸が効いてくれていればもっと良かった。

右下の「カスケードブロンズ」はカスケードという女性に人気が高いビールの種類になりますこれはカスケードの中でも少しホップが聞いて苦いかもしれませんね。結構飲みごたえのある、活飲みやすいビールでした。あんまりこういうレポートは得意でないのですいません・・・

いずれにせよ、リカーショップの乱雑に置かれているディスカウント品のところをあさってみると面白いビールがあります。もし時間があればあさって見てはいかがでしょう。



上の二つはオーストラリアで最も飲まれている「XXXX」(フォーエックス)というビールです。左側がサマーという少しマイナーな種類で、右側が一番スタンダードなオーストラリアの人たちが好むものです。



そしてまた時計回りに行きますよ。左上が「クーパー」でなにげに日本人女子に人気のビールです。結構軽めで人気が高いです。

左はメキシコの世界一美味しいと言われている「SOL」です。個人的にはマイルドありキレのあるビールです。ホップとバランスがいいですね。

右下は右下のワインはオーストラリアの・・・ちょっと覚えていません。高めの赤ワインです。

左下が「ヴィクトリアビター」です。少しにがめのビールです。人気はあまりないマイナーな部類に入るビールですね。味はやはり好みが分かります。



左上がメルボルンビター。個人的には好きなのですがあまりオーギーには受けが悪い模様です。

そしてオーストラリアの安いワイン。基本的にオーストラリアはぶどうの収穫が簡単にできる機構なのでワインが安いです。ボックスと呼ばれる2リットルや3リットルのワインも20ドル〜40ドルほどで買えます。

ワイン好きにはいい国かもしれません。しかしカナディアンたちはワインが安いことに驚いていました。これもお国柄とでも言うのでしょうか？



時計回りに。Cold は軽めな NSW のビールです。よくよくこのよとファームで出会ったウィルという大学生がよく飲んでいました。あまりホップはきいていなくて飲みやすい、喉越しがすっきりしているビールです。

右側はハンスーパードライ。少し強いアルコールです。たんさんが結構強く、喉が渴いている時に飲み干したらいい感じのビールです。

右下、トーニートッドエクストラドライ。これはアサヒスーパードライに結構味が似ているので日本人はなじみやすい。

ボグスドラフト。かなりホップ強めです。嫌いな人は嫌いでしょう。日本人テイストではないです。



これはカナダのお酒ですね。コーラとウィスキーを混ぜたもの。ウィスキーコーク。個人的に結構甘い。オーストラリア人もジンビームにコーラを混ぜたものをかなり好んで飲むから、甘いお酒が結構ある。ちなみにカルーアリキュールはかなり高い。